



# テディベア ひな人形 2019



## シュタイフから仲間つまじい節句テディベア最新作が誕生。

シュタイフの故郷、ドイツでは、テディベアを親から子へ、そしてまた、その子へと愛情を込めて代々受け継ぐ伝統があります。そしてまた同じように日本でも受け継がれる人形、ひな人形があります。「親が子を思う美しい心」を育む伝統が、国をこえコラボレーションしました。前作に引き続きひな人形で有名なブランド『寿慶』とシュタイフ社で製作したひな人形テディベア。豪華な衣装の「まり」は丸い形から万事丸くおさまるとの意義があり「家庭円満」「平和な日々」を祈ります。六角形の幾何学文様「麻の葉柄」は平安時代から仏像の装飾などに重宝。魔除けの意義があり産着の柄としても親しまれています。また麻の葉は成長が早く真っ直ぐに伸びることから子供の健やかな成長を願います。

### Hinaningyo-Set 2019

678615 15cm(ベア) モヘア  
日本限定1,500体 ¥75,000(本体)  
9月中旬発売

#### 付属品のご案内

アクリルケース  
678615AC  
外寸 幅56×奥行33×高さ36cm  
内寸 幅51×奥行28×高さ29cm  
カブセ式 / ¥50,000(本体)



アクリルケース ※別売り



後姿も細部にこだわり製作いたしました。



# History of Steiff

## シュタイフ社と創業者マルガレーテ・シュタイフ

「テディベアといえば、シュタイフ」世界的にも有名なこのぬいぐるみブランドを創業したのは、1847年南ドイツ・キンゲンという小さな街で生まれたマルガレーテ・シュタイフ(1847~1909)という女性でした。彼女は1歳の時、小児麻痺にかかり、右手と両足が不自由になり、一生を車椅子で過ごすことになってしまいます。マルガレーテの両親は、障害があっても自立できるようにと、学校に通わせ、裁縫もマスターするように育てました。20代になり、シュタイフ社の前身である「フェルト・メール・オーダーカンパニー」を設立し、女性や子ども服の販売を手がけます。

1880年12月、マルガレーテは、甥や姪たちのクリスマスプレゼントに象をモチーフにしたおもちゃを贈ることを考えつきました。素材にはフェルト、中身には最上の羊毛をつめこんだやわらかな象のおもちゃは全部で8体できあがりました。子どもたちにはおもちゃとして、大人の女性には針刺しとしてプレゼントされた象のおもちゃは好評を得ました。ぬいぐるみづくりの



創業者 マルガレーテ・シュタイフ

きっかけとなったこの1880年シュタイフ社の創業の年とされています。

1897年から事業を手伝ってきたマルガレーテの甥リチャードは、「本物のようなクマのぬいぐるみ」の製作をマルガレーテに提案。これが世界で最初のテディベア



「テディベア」の生みの親であるリチャード・シュタイフ

とよばれる『55PB』で、首と手足が動き素材も最高級のものをつかった最高級で上品なぬいぐるみが誕生しました。この『55PB』は、見本市でアメリカ人バイヤーの目にとまり、やがて改良を重ね、量産体制に入ります。同じころ、アメリカでは、セオドア・ルーズベルト大統領の愛称である「テディ」とともに、クマのぬいぐるみの人気も高まっていく一方で、偽物や粗悪品も出回り始めました。そこで登場したのが、シュタイフ社製品であることを認証する「左耳にボタンをつける」というアイデアでした。これが世界最古のトレードマークでもある「ボタン・イン・イヤー」の始まりで、最高級の品質の証として、今日でも続いております。

## 世界最古のトレードマーク「ボタン・イン・イヤー」



白タグ+赤文字

地域限定、数量限定、年度限定、など生産数に制限のある限定品に付けられます。レプリカ以外の限定品の大半が、これにあたります。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



白タグ+黒文字

1900年代初頭のシュタイフ製品を復刻したレプリカに付けられます。デザインが同じでも、サイズ、素材などが異なる場合は、このタグを付ける事が出来ません。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



黄タグ+赤文字

定番商品に付けられます。カタログ掲載期間中は数に制限なく、注文に応じて生産されます。

シュタイフ日本総代理店 株式会社 MS1880

〒107-0062 東京都港区南青山3-13-24

TEL : 03-3402-1880(代表) FAX : 03-6432-9069 E-MAIL : info@steiff.co.jp